

FMC

健全な生育をしっかり守る。

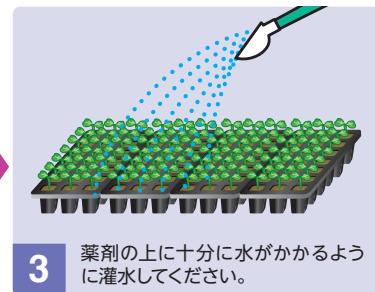
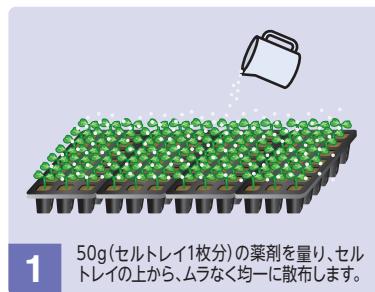
# ずっと美しい葉菜に しあげる

薬剤のかかりにくい葉裏に潜む害虫にも、高い効果！

極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3~4週間の長期残効。

柔軟な処理方法

セルトレイ育苗(葉菜類)



地床育苗(キャベツ)



2022年1月12日  
適用拡大！

苗地床1m<sup>2</sup>あたり100gをムラなく均一に散布し、葉の上に残った薬剤を手で払い落します。

ジアミド剤のプロ  
FMCの卓効成分

シアントラニリブロール  
(通称:サイアジピル®)  
0.5%配合！

野菜用殺虫剤

プロロッソ®  
粒剤  
オメガ

powered by  
CYAZPYR®  
ACTIVE INGREDIENT

幅広い適用害虫



\*1 撮影地:長野県塩尻市 \*2 提供:柴尾学氏



使いやすい、  
さらさらの粒剤で、新登場！

- 特長 1 薬剤のかかりにくい葉裏に潜む害虫にも、高い効果！**
- 特長 2 極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3~4週間の長期残効。**
- 特長 3 ジアミド剤のプロFMCの卓効成分シアントラニリプロール(通称、サイアジピル<sup>®</sup>)0.5%配合！**

## 適用害虫と使用方法

2022年10月26日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農業の総使用回数
キャベツ	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壤約1.5~4ℓ)当り50g	育苗期後半 ~定植当日	1回	本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ~定植時		株元散布	
	アブラムシ類、アザミウマ類	2g/株	育苗期		散布	
はくさい	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壤約1.5~4ℓ)当り50g	育苗期後半 ~定植当日	1回	本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ	1g/株	育苗期後半 ~定植時		株元散布	
	アブラムシ類	2g/株				
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壤約1.5~4ℓ)当り50g	育苗期後半 ~定植当日	1回	本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の処理は 3回以内)
	コナガ、アオムシ	1g/株	育苗期後半 ~定植時		株元散布	
	アブラムシ類、アザミウマ類	2g/株				
レタス	オオタバコガ、アブラムシ類、ハモグリバエ類	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壤約1.5~4ℓ)当り50g	育苗期後半 ~定植当日	1回	本剤の所定量を セル成型育苗トレイ またはペーパーポットの 上から均一に散布する。	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	オオタバコガ、ハモグリバエ類	1g/株	育苗期後半 ~定植時		株元散布	
	アブラムシ類	2g/株	定植時			
ビーマン	アブラムシ類		鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	アザミウマ類、コナジラミ類		育苗期後半 ~定植時		株元散布	
トマト ミニトマト	コナジラミ類		鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	ハモグリバエ類、アブラムシ類、アザミウマ類		育苗期後半 ~定植時		株元散布	
きゅうり	アブラムシ類		鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類				株元散布	
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類		育苗期後半 ~定植時			
すいか メロン	アブラムシ類					
だいこん	コナガ、アオムシ、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ、カブリハリチ類、キスノミハムシ、ネキリムシ類		は種時		播溝土壤混和	4回以内 (は種時までの処理は 1回以内、 は種後の処理は3回以内)
ねぎ	アザミウマ類、ハモグリバエ類	6kg/10a	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内(定植時までの 処理は1回以内、定植後の 処理は3回以内(但し、 株元灌注は1回以内))
畑わさび	アザミウマ類、ワサビルリオサルゾウムシ		収穫21日前まで	1回	全面土壤散布	1回

### △ 効果・薬害等の注意

- アルカリ性肥料との同時施用はさせてください。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- みずかけな(水掛菜)には使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### 殺虫剤分類 28

#### 殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項: 薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連續する複数の害虫世代間にわざわざ処理することは避けること。「ロップ式ローテーション」、即ち、プリロッソ<sup>®</sup>粒剤オメガまたは他のグループ28殺虫剤の「プロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ロップ」が続く形でローテーションすること。作付期間(播種から収穫まで)を通して、適用されるすべてのグループ28使用プロックの合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1プロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト  
(1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト <https://irac-online.org>  
(2) <https://www.fmc-japan.com/trendinfo/irac>

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2022 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



丸和バイオケミカル株式会社

■本社  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2  
☎03-5296-2314 <https://www.mbc-g.co.jp>  
お問い合わせ窓口/☎ 03-5962-9731  
(平日9:00~17:00祝祭日を除く)

■札幌/☎ 011-222-1285  
■仙台/☎ 022-261-1103  
■名古屋/☎ 052-951-7234  
■大阪/☎ 06-6484-6850  
■福岡/☎ 092-714-7101

製品情報は  
こちらから→

